

夏休みだ！美術館に行こう！

—千葉市美術館 夏のスペシャルイベントのお知らせ—



7/30(月) わくわく親子デー

【開催時間】10:00～18:00 8、7階展示室にて

小さなお子さん連れや小学生が親子で楽しめる、そんなイベントが盛りだくさん！
*高校生以下は観覧無料。大人は観覧券が必要です。

▲「木版画はかせと行くギャラリーツアー」

木版画はかせと一緒に展示室をめくります。親子で作品を楽しむヒントが見つかるかも？

小さなお子さんやベビーカーでの参加も大歓迎です。

【開催時間】10:30～(30分程度)

対象：どなたでも

参加無料

*参加ご希望の方は8階受付前にお集まりください。



▲「わくわく探検号Ⅱ」

ダンボールで自分だけの探検号を作ろう。
完成したら車掌さんと一緒に展示室へGO！
作った探検号は持ち帰れます。

【開催時間】1回目 11:00～12:00、2回目 13:30～14:30

場所：7階ロビー

対象：3才～小学2年生の親子

参加費：400円/組

定員：各回親子6組12名

*先着順。7階ロビーにて整理券を配布します。

11:00～12:00の回→10:15より配布

13:30～14:30の回→13:00より配布



▲「旅の仲間を作ろう」

いろいろな素材を使って、展示室を旅する仲間を作ろう。
作った仲間は持ち帰れます。

【開催時間】10:00～15:00

場所：8階ロビー

対象：どなたでも

参加費：100円

定員：100名(先着)



▲「のんびり鑑賞サービス」

8階受付にて折りたたみ椅子を貸出します。好きな作品の前で、のんびりご鑑賞ください。

【開催時間】10:00～18:00

レンタル無料(数には限りがあります)

千葉市美術館

8/19(日) 美術館で縁日気分！！

【開催時間】13:00～17:00 1階さや堂ホールにて

毎年恒例、「千葉の親子三代夏祭り」にあわせて、花輪茶之介さんによる飴細工の実演ほか、様々なお楽しみブースをご用意します。大人も子どもも縁日気分をお楽しみください。



〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

Tel: 043-221-2311 fax: 043-221-2316 <http://www.ccma-net.jp>

千葉市美術館
Chiba City Museum of Art



8/11(土・祝) 山の日ワークショップ 「行った山／行きたい山／空想の山」

【開催時間】13:30～

参加者一人一人がこれまで実際にに行ったことのある山、将来行ってみたい山、はたまた、どこかにあるかもしれない空想の山を、それぞれ油粘土で作ります。実際にその山の周りをぐるぐる旅する気分で色々な角度から観察し、尾根や噴火口、氷河や絶壁といった自然の造形を想像しながら手を動かしていきます。出来上がった山は、みんなで協力してつなげ、どこにもない山脈の風景を作りましょう。

【講師】山下麻衣+小林直人(現代美術家)

9階講座室にて／定員20名／対象:小学生以上／参加費:1000円

*事前申込制／申込締切:8月1日(水)必着、お申し込みはHPから

【講師紹介】千葉県出身。2001年よりユニット活動を開始。「人と自然との関わり」をテーマにした作品で、世界各地で活躍中。



山下麻衣+小林直人



7/28(土) 美術館ボランティアによる立ち寄り ワークショップ

複数の色を重ねていく多色摺りからシンプルな単色摺りまで、だれでも手軽に体験できます。摺りあがった作品は持ち帰れます。

【開催時間】10:30～12:00、13:30～15:00

7階ロビーにて

参加無料／先着80名



8/23(木)、8/24(金) 中学生のためのギャラリークルーズ'18

子どもだけでの来館と鑑賞を美術館ボランティアスタッフがサポートします。一人でもグループでも参加OK。夏休みの宿題(展覧会鑑賞)にも対応できます。

【開催時間】10:00～15:00

随時受付(30分程度)

*参加ご希望の方は、8階受付前にお集まりください。



8/8～8/22の月・水・金曜日 おしえて! 「はてな先生」

美術館ボランティアスタッフが、鑑賞の楽しさのヒントを用意しています。わからないことや、知りたいことがある人、宿題で困った人は、8階ロビーで「はてな先生」がお待ちしています。

【開催時間】10:00～12:00

8階ロビーにて／対象:高校生以下／参加無料

展覧会情報

企画展 「木版画の神様 平塚運一展」

小学校で体験する木版画。実はいろいろなワザがあって奥が深いのです。平塚運一はなんと102歳で亡くなるまで、高い技術で制作を続け「木版画の神様」と呼ばれました。日本や中国、そしてアメリカの美しい風景、生命力あふれる人物像など…どのように木版画で表現されているでしょうか。ぜひ展示室で確かめてください。



平塚運一《雲尚瑞雲、蒙疆》
昭和32年(1957) 千葉市美術館寄託

所蔵作品展 「旅—ちょっとそこまで、遠くまで」

見たことのない風景や、すてきな出会いが旅の楽しみならば、遠くへ行かなくたって体験できるかもしれません。美術館の展示室にならんだ作品は、私たちを見たことのない世界へと連れて行ってくれるでしょう。旅する人々のイメージに誘われて、展示室の中へ。「海の日」「山の日」にちなんだ作品もあります。



歌川国芳《東都名所かすみが関》
天保(1830～44)前期 千葉市美術館蔵

会期 2018年7月14日(土)～9月9日(日)

開館時間 10:00～18:00(金・土曜日は20:00まで) ※入場受付は開館の30分前まで 休館日 第1月曜日(8月6日、9月3日)

小・中学生
高校生は無料!